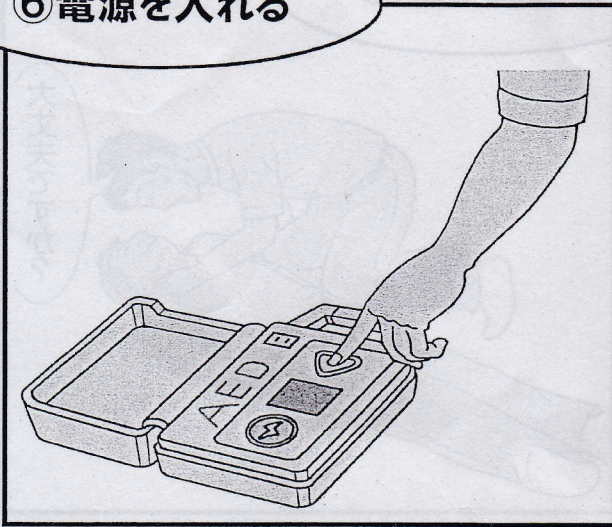


AED 使用の流れ

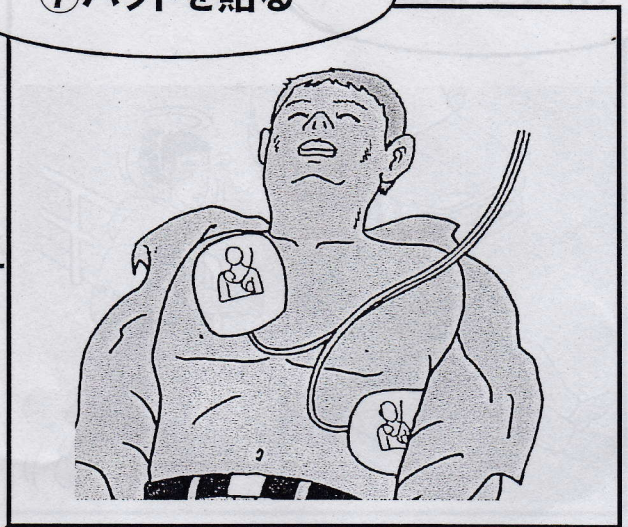
質の高い心肺蘇生法に加え、AED を直ちに使用することで、救命率が約 2 倍になります。

⑥電源を入れる



傷病者の頭側に置き、電源ボタンか蓋を開ける

⑦パッドを貼る



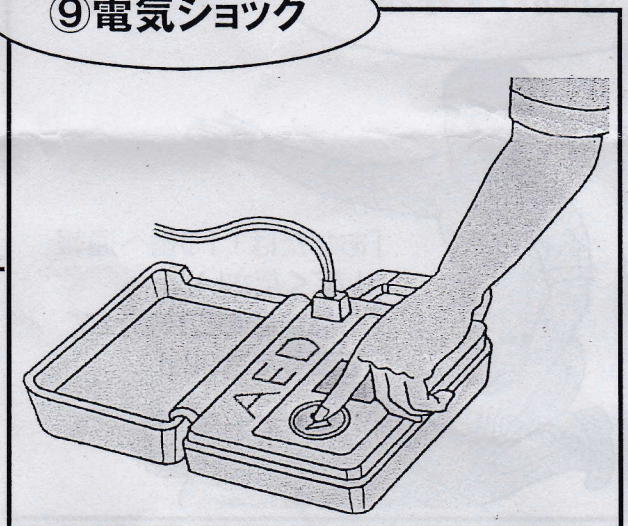
右胸の鎖骨の下と左脇の5～8cm 下

⑧心電図解析



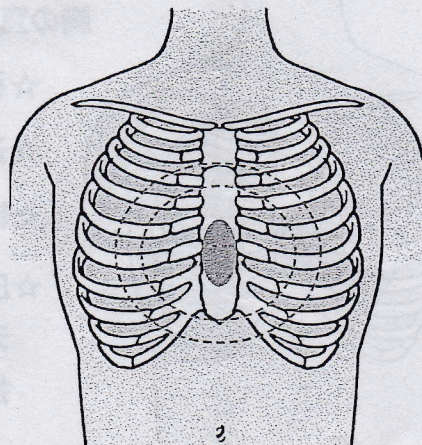
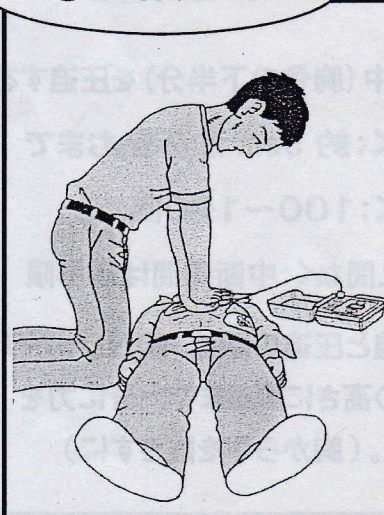
誰も触っていないことを声と目で確認する

⑨電気ショック



再度周りの安全を確認後ショックボタンを押す

⑩胸骨圧迫



胸の真ん中(胸骨の下半分)を圧迫する

☆強く: 約5cm 沈み込むまで

☆速く: 100～120回/分

☆絶え間なく: 中断時間は最小限

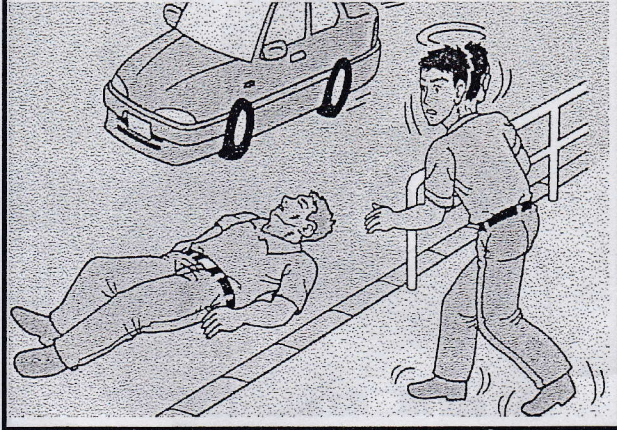
☆圧迫と圧迫の間は、胸がしっかり元の高さに戻るまで十分に力を抜く。(胸から手を離さずに)

※2分毎に AED が自動的に心電図の解析を行います。

心肺蘇生法の流れ

救急隊の到着時間は、全国平均約 9 分。あなたの心肺蘇生で救える命があります。

① 安全確認



② 反応を確認



何らかの返答が無ければ『反応なし』

③ 助けを呼ぶ



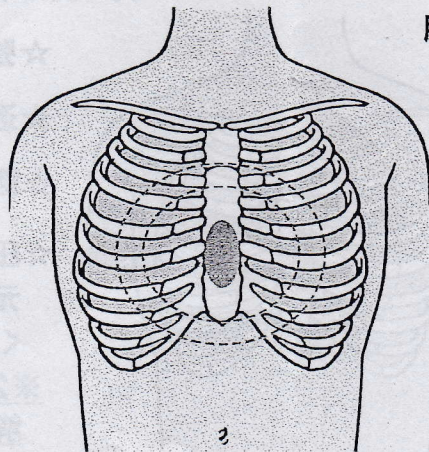
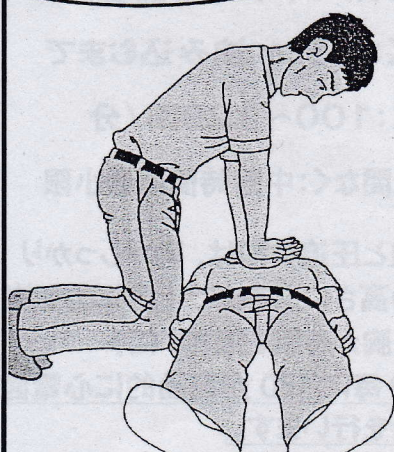
「あなたは119番へ通報してください!!」
「あなたはAEDを持ってきてください!!」

④ 呼吸の確認



10秒以内で胸や腹部の動きを見る
普段どおりの呼吸がなければ『呼吸なし』

⑤ 胸骨圧迫



胸の真ん中(胸骨の下半分)を圧迫する

☆強く: 約 5cm 沈み込むまで

☆速く: 100~120回/分

☆絶え間なく: 中断時間は最小限

☆圧迫と圧迫の間は、胸がしっかり元の高さに戻るまで十分に力を抜く。(胸から手を離さずに)